

令和5年度第1回大船渡市健康づくり推進協議会

日 時：令和5年5月30日（火）午後1時30分
場 所：大船渡市総合福祉センター 大会議室

会 議 資 料

3 議 事

- (1) 令和4年度保健事業実施状況について
令和4年度の主な保健事業実施状況について . . . p. 1
令和4年度事業実績 . . . p. 5
- (2) 令和5年度保健事業実施計画(案)について
令和5年度の主な保健事業実施計画(案)について . . . p. 19
令和5年度事業計画（案） . . . p. 22
- (3) 第3次健康おおふなと21プランの策定について . . . p. 29

4 報 告

- 新型コロナウイルスワクチン接種状況と今後の体制について . . . p. 32

その他参考資料

- ・大船渡市健康づくり推進協議会委員名簿 . . . p. 34
- ・大船渡市健康づくり推進協議会設置要綱 . . . p. 35
- ・令和5年度健康づくり事業 一覧 . . . p. 36
- ・大船渡市保健福祉部機構図（抜粋） . . . p. 37

大船渡市保健福祉部健康推進課

3 議事 (1) 令和4年度保健事業実施状況について

令和4年度の主な保健事業実施状況について

令和4年度は、重点課題を次の6項目とし、課題解決に向けてさまざまな取組を行うとともに、市民の健康増進を図るため、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じながら、各種事業を実施した。

<令和4年度の重点課題>

- 1 乳幼児のむし歯予防（継続）
- 2 子育て世代包括支援センター事業の推進（継続）
- 3 肺がん検診及び特定健康診査等の受診率の向上（継続）
- 4 糖尿病重症化予防（継続）
- 5 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止（継続）
- 6 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施事業（新規）

(1) 母子保健事業

母と子がともに健やかに過ごせるように、妊産婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るとともに、安心して妊娠・出産・子育てができる体制の確保に努めた。

① 乳幼児のむし歯予防〔重点課題〕

新生児訪問時の保健指導、1歳6か月児及び3歳児健康診査の際のフッ化物歯面塗布、各種幼児健診や乳児相談での口腔衛生指導、1歳児健康相談の個別ブラッシング指導、幼児歯科健康診査後の電話指導などで、むし歯予防に取り組んだ。3歳児歯科健診におけるむし歯有病率は11.4%であり、引き続き改善傾向がみられている。

② 安全・安心の出産確保と母子の健康管理の充実

未熟児養育医療給付制度により対象児に対して医療費の公費負担を行った。

母体や胎児、新生児の健康確保を図るため、妊婦一般健康診査、妊婦子宮頸がん検診、産婦健康診査、新生児聴覚検査の各費用助成を実施し、安心して妊娠・出産ができる体制を確保した。

また、母子健康手帳交付時などの機会に、勧奨を積極的に行うなどしたことで、パパママ教室の参加者が増加してきていることから、開催回数を増やして実施するとともに、都合により参加できない夫婦には個別に相談・指導などの対応を行った。これにより、妊婦のみならず家族が赤ちゃんを安心して迎え入れる意識の啓発に繋がっている。

未来かなえ機構との連携による「小児科オンライン」及び「産婦人科オンライン」は、電話やLINE等で妊娠・出産・子どもに関する悩み等を相談できるもので、登録数は増えているが、利用者が増えない状況であることから、アンケートなどで利用

につながらない理由について分析していく必要がある。

③ 少子化対策の充実

大船渡市不妊に悩む方への特定治療支援事業を実施し、治療費が高額である体外受精・顕微授精、男性不妊に係る不妊治療の治療費の一部を助成した。

なお、令和4年度からは特定不妊治療が健康保険適用となり、市事業としては一部の経過措置対象者を除いて終了した。

(2) 子育て世代包括支援センター事業〔重点課題〕

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施するため、助産師及び保健師等が、個々に応じた具体的な相談・支援を行うとともに、状況に応じて関係機関との連絡・調整等を図った。

「産前・産後サポート事業」及び「産後ケア事業」で、悩みごとや育児などの相談への対応、産婦の心身のケアなどのサポートを行って、妊産婦の妊娠期から産後の負担感の解消に努めたほか、スマートフォンアプリの「大船渡子育てアプリ トントン」により、適時に適切な情報を提供するなど、きめ細やかな妊娠・子育てのサポートに取り組んだ。

また、国の出産・子育て応援交付金事業の開始をうけ、従前から実施してきた様々なニーズに即した相談や必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と併せて、妊娠の届出を行った妊婦・出生の届出を行った子の養育者等に対し給付金を支給する経済的支援を令和5年1月から実施した。

(3) 成人保健事業

市民一人ひとりが、生活習慣病等の疾病を予防し、健康で健やかな生活が送れるよう、健康診査、各種がん検診、健康相談、健康教育、訪問指導等を実施した。

また、腎臓機能低下の程度を測り、糖尿病性腎症のリスクが高い者の早期発見に有効であるとされている「血清クレアチニン」を引き続き特定健康診査の検査項目に追加し、予防の強化を図るとともに、リスクが高い者への重症化予防の取組を行った。

① 肺がん検診及び特定健康診査等の受診率の向上〔重点課題〕

受診率の向上を図るため、特定健康診査と肺がん検診及び大腸がん検診を同時実施し、各種検診の受診環境の整備に努めた。特定健康診査をはじめ各種がん検診とも目標とする受診率には届いておらず、受診勧奨の方法を検討していく必要がある。

② 糖尿病重症化予防〔重点課題〕

国保データベースシステム（KDB）情報の活用と気仙医師会との連携により、糖尿病ハイリスク者を対象とした継続支援を行い、およそ6割の対象者の検査値が改善した。糖尿病は当市の健康課題の一つであることから、引き続き関係機関と連携しながら効果的に事業を実施していく必要がある。

③ 健康づくりの情報発信

令和4年度から健康づくり座談会を再開し、地区ごとでウォーキングマップの作

成と運動についての情報提供や実践を行った。また、市制施行 70 周年記念事業「健康講演会」として、ロコモティブシンドロームに関する講話と実技を行い、市民の健康寿命延伸と健康増進を図った。また、「健康情報誌 おおふなと」を発行し、特定健診に関する情報発信を行った。さらに、検診会場では健康情報誌の配布や健康づくり 10 か条の掲示による情報発信を行った。

(4) 感染症予防事業

予防接種法に基づき、A類疾病及びB類疾病についての定期予防接種を実施し、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延の予防に努めた。

任意接種である小児インフルエンザ予防接種については、引き続き市の単独事業として接種費用の助成を実施した。

子宮頸がん予防ワクチン（HPV ワクチン）の接種については、定期予防接種に位置づけられながら、平成 25 年 6 月以降、積極的勧奨を差控えることとされていたが、国の方針により令和 4 年度から積極的勧奨を再開した。併せて、この間に勧奨差控えにより接種機会を逃した女子（平成 9 年 4 月 2 日生～平成 18 年 4 月 1 日生）に対して、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う「キャッチアップ接種」を実施した。

また、令和元年度から実施している国の「風しんの追加的対策」について、引き続き対象者の抗体検査と予防接種の無料クーポン券の送付や勧奨を行い、風しんの感染拡大防止を図った。

(5) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止〔重点課題〕

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、関係機関と連携しながら対策を講じ、感染予防の周知に努めるとともに、市内全医療機関等との連携・協力のもと、市民へのワクチン接種を実施した。

① ワクチン接種の実施

予防接種法及び国の方針等に基づき、接種対象範囲を拡大しながら、一般社団法人気仙医師会及び市内全医療機関、関係機関等の協力のもと、接種体制を構築し、接種を希望するすべての市民への円滑かつ速やかなワクチン接種の実施に努めた。

② 感染拡大防止のための啓蒙普及及び保健活動への配慮

新型コロナウイルス感染症対策室と連携し、市のホームページや広報等により、感染拡大防止に係る情報等の周知を図った。

また、健康推進課や子育て世代包括支援センターの各種事業の実施にあたっては、がん検診等の事前予約や乳幼児健診の受付時間の細分化など、感染拡大防止に配慮し、事業を実施した。

(6) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業〔重点課題〕

高齢者が自立した日常生活を送ることができる健康寿命の延伸を図るため、令和 4

年度から、庁内関係部局（健康推進課・国保医療課・地域包括ケア推進室）が連携して、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始した。

高齢者の健診・医療・介護データ等をもとに地域の健康課題を分析した結果、「糖尿病重症化予防」と「健康状態不明者対策」が課題となっていることから、国保データベースシステム（KDB）により、その対象者の把握を行った。当課が実施した「糖尿病重症化予防」の取組では、継続支援者のおよそ 7 割に生活習慣や検査値の改善が見られた。

また、地域包括ケア推進室では「健康状態不明者対策」として、全対象者への訪問や地域サロン等の通いの場への訪問、地域におけるフレイル予防教室の開催などにより、フレイル予防の普及啓発や介護予防の推進を図った。

令和4年度 事業実績

(1) 母子保健事業

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
1	妊婦一般健康診査	妊婦に受診票（14枚）を交付し、医療機関委託健康診査を実施。	有所見率 9.5%	有所見率 8.6%	—
2	パパママ教室	妊婦及びその夫（パートナー）、家族のための健康教室	開催回数 3回 参加者数 80人（40組） うち、都合により教室に参加できなかった夫婦には個別でパパママ教室を実施（6組）。	開催回数 4回 参加者数 86人（41組夫婦、1組夫婦と祖母、1組妊婦のみの参加） うち、都合により教室に参加できなかった夫婦には個別でパパママ教室を実施（4組）。	—
3	産婦健康診査	妊婦に受診票（2枚）を交付し、医療機関委託健康診査を実施。	2週間健診実施者数 27名 有所見率 2.1%	2週間健診実施者数 38名 有所見率 2.3%	
4	1か月児健康診査	乳児医療機関委託健康診査	対象者数 132人 受診者数 130人 受診率 98.5%	対象者数 140人 受診者数 139人 受診率 99.3%	—
5	4か月児健康診査	乳児医療機関委託健康診査	対象者数 145人 受診者数 141人 受診率 97.2%	対象者数 134人 受診者数 132人 受診率 98.5%	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 99.7%
6	10か月児健康診査	乳児医療機関委託健康診査	対象者数 147人 受診者数 132人 受診率 89.8%	対象者数 154人 受診者数 149人 受診率 96.8%	—
7	1歳6か月児健康診査	幼児集団健康診査	対象者数 187人 受診者数 181人 受診率 96.3%	対象者数 154人 受診者数 147人 受診率 95.5%	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 100%
8	3歳児健康診査	幼児集団健康診査	対象者数 192人 受診者数 191人 受診率 99.5%	対象者数 189人 受診者数 187人 受診率 98.9%	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 98.5%
9	乳幼児精密健康診査	精密健康診査受診票の交付	対象者数 17人 受診者数 14人 受診率 82.4%	対象者数 22人 受診者数 20人 受診率 91.0%	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 100%

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
10	離乳食教室 (3か月児健康相談)	3か月児を対象に離乳食指導・健康相談などを実施。	対象者数 131人 参加者数 130人 参加率 99.2%	対象者数 134人 参加者数 127人 参加率 94.8%	—
11	7か月児健康相談	身体計測や健康相談・歯科保健指導等を実施。 絵本をプレゼントするブックスタート事業も合わせて実施。	対象者数 144人 参加者数 134人 参加率 93.1%	対象者数 144人 参加者数 143人 参加率 99.3%	—
12	1歳児健康相談 (歯科個別指導)	身体計測や健康相談を実施。 個別歯磨き指導及び歯科保健指導を実施。	対象者数 146人 参加者数 138人 参加率 94.5%	対象者数 144人 参加者数 138人 参加率 95.8%	—
13	新生児聴覚検査費助成 事業	新生児の聴覚障害の早期発見及び支援につなげるとともに、経済的負担を軽減するため、新検査費用の一部助成を実施。	助成人数 61人 助成額 10,000円	助成人数 70人 助成額 10,000円	—
14	のびっこ教室	幼児健診で要経過観察となった児、健診未受診児、園訪問で要経過観察となった児、育児不安のある保護者などを対象に、育児指導や心理士による発達相談を実施。児の集団活動を観察し、発達段階の整理や、今後の支援方針を検討した。	開催回数 12回 参加人数 37人 延人数 46人	開催回数 10回 参加人数 22人 延人数 45人	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 12回
15	のびのびのび訪問事業 (幼稚園・保育園等訪問)	心理療法士と保健師が幼稚園・こども園・保育園を訪問し、健診等で経過観察が必要な乳幼児について、集団の中での様子を観察するとともに、保育士等から気になる乳幼児についての相談に対応した。	実施回数 18回 延人数 127人	実施回数 16回 延人数 142人	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 14回
16	赤ちやんふれあい体験 学習	高校生を対象に抱っこ・おむつ交換等の赤ちやんとのふれあい体験を実施。	※新型コロナウイルス感染症防止のため中止。	実施回数 2回 参加人数 11人	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 20人

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
17	不妊に悩む方への特定治療支援事業	不妊治療を受ける夫婦に対し、治療費が高額である体外受精及び顕微授精に係る費用の一部を助成	実人数 14人 延べ人数 18人	実人数 7人 延べ人数 7人	—
18	未熟児養育医療給付事務	養育のため入院を必要とする未熟児について、医療費の一部を給付する。	実人数 7人	実人数 9人	—
19	すくすく相談・もぐもぐ相談	市が設置している地域子育て支援センター「すくすくルーム」(サ・リアシヨッピングセンター内)で、保健師による子育て相談(すくすく相談)及び栄養士による栄養相談(もぐもぐ相談)を実施。	すくすく相談 実施回数11回 相談者27組 ※偶数月に保健師による健康に関するミニ講話を実施 もぐもぐ相談 実施回数5回 相談者19組 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すくすく相談1回、もぐもぐ相談1回中止。	すくすく相談 実施回数11回 相談者21組 ※偶数月に保健師による健康に関するミニ講話を実施 もぐもぐ相談 実施回数6回 相談者18組 ※すくすくルームの都合により、すくすく相談1回中止	—
20	小児科オンライン・産婦人科オンライン	電話やソーシャルネットワークシステム(SNS)を通じて、妊娠・出産・子どもに関する悩み等を小児科医や産婦人科医等に相談できる(予約制)。未来かなえ機構との連携事業として実施。	小児科オンライン 登録組数 33組 利用件数 12件 産婦人科オンライン 登録組数 7組 利用件数 5件	小児科オンライン 登録組数 97組 利用件数 5件 産婦人科オンライン 登録組数 7組 利用件数 1件 いつでも相談 産婦人科 20件 小児科 67件 ※令和5年1月までの実績	—
21	1歳6か月児歯科健康診査	集団健診	むし歯有病者率 1.1% 一人当たりのむし歯本数 0.03本	むし歯有病者率 0% 一人当たりのむし歯本数 0本	—
22	2歳6か月児歯科健康診査	市内歯科医療機関(大船渡歯科医師団)に委託	むし歯有病者率 3.0% 一人当たりのむし歯本数 0.10本	むし歯有病者率 5.9% 一人当たりのむし歯本数 0.18本	—
23	3歳児歯科健康診査	集団健診	むし歯有病者率 17.3% 一人当たりのむし歯本数 0.56本	むし歯有病者率 11.4% 一人当たりのむし歯本数 0.34本	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 むし歯のない3歳児の割合 84.0%

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
24	フッ化物歯面塗布事業	1歳6か月児及び3歳児歯科健康診査後に、歯科衛生士による口腔衛生指導と保護者の同意を得てフッ化物歯面塗布を実施した。	1歳6か月児 対象者数 181人 実施者数 179人(98.8%) 3歳児 対象者数 191人 受診者数 181人(94.7%) 指導件数 15件	1歳6か月児 対象者数 147人 実施者数 141人(95.9%) 3歳児 対象者数 187人 受診者数 169人(90.4%) 指導件数 17件	—
25	乳幼児歯科訪問指導	幼児歯科健診後、ハイリスク児家庭へ歯科衛生士が訪問等で、指導を実施。	指導件数 15件	指導件数 17件	—

(2) 子育て世代包括支援センター事業

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
1	母子健康手帳の交付	妊娠届出を受けて、妊婦に母子健康手帳を交付した。予約制で実施。 岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」 <small>(注1)</small> への参加を促進する。	妊娠届出をした者の数 138人 うち妊娠満11週までの届出の割合 91.3% (126人) 参加者数 141人 (新規138人、転入3人) 参加率 100%	妊娠届出をした者の数 128人 うち妊娠満11週までの届出の割合 92.2% (118人) 参加者数 130人 (新規128人、転入2人) 参加率 100%	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 妊娠満11週までの届出の割合 98.6%
2	妊婦相談・保健指導	母子健康手帳交付時の相談(転入時含む) 妊婦相談(面接・訪問・電話・メール等)	相談件数 147件 相談率 100%	相談件数 136件 相談率 100%	—
3	新生児訪問指導 (乳児家庭全戸訪問事業を兼ねる)	新生児訪問及び2か月までの乳児訪問。市外へ里帰りしている母子に対しては、里帰り先の自治体に訪問依頼した。	訪問人数 138人 (未実施2名) 訪問割合 98.6% 要継続支援 53人 要継続支援者割合 38.4%	訪問人数 135人 (未実施4名、訪問調整中6名) 訪問割合 93.8% 要継続支援 56人 要継続支援者割合 41.5% ※5/8時点の実績値	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 実施率 99.6%

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
4	産後のメンタルヘルス対策	乳児訪問の際のEPDS ^{注2)} など3つの自己記入式質問票への記入結果をもとに、産婦の精神状態を把握し、必要に応じて支援を行った。	質問票への記入者数 136人 EPDS9点以上 5人 (3.7%)	質問票への記入者数 134人 (未実施2名、今後実施予定9名) EPDS9点以上 10人 (7.5%) ※5/8時点の実績値	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 EPDS9点以上の産婦の割合 7.0%
5	母子継続支援事業	母子健康手帳交付時のリスクアセスメント票をもとに、ハイリスク妊婦を判断し、保健指導を行った。特に継続的な支援が必要と判断した妊婦・家庭に対しては、妊娠前から密に関わり必要な支援を行った。	リスクアセスメント実施数 147人 ハイリスク妊婦数 27人 (18.4%) ※平成30年度、令和元年度と高い割合で推移していたが、令和2年度・3年度と減少してきている。	リスクアセスメント実施数 136人 ハイリスク妊婦数 30人 (22.1%) ※令和3年度と比較して3.7ポイント上昇した。	—
6	産前・産後サポート事業	月2回集団型ゲイサービスを実施。助産師・保育士等による妊産婦の不安や悩みへの相談支援等を行う。	利用延べ件数 26組	利用延べ件数 34組	—
7	産後ケア事業	月1回個別型ゲイサービスを実施。産後の休養やケア、授乳等の保健指導、育児相談等を行う。	利用延べ件数 4組	利用延べ件数 6組	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 実施
8	電子母子手帳サービス (子育て支援アプリ) 事業	「大船渡子育てアプリ トント」を活用し、母子保健に係る情報配信を行う。	記事配信回数 16回 R4.3.31までの累計ユーザー数 336人	記事配信回数 32回 R5.3.31までの累計ユーザー数 460人	
9	出産・子育て応援給付金の支給	妊娠の届出を行った妊婦・出生の届出が行われた子の養育者等に対し給付金を支給する。	—	出産応援給付金 206件 子育て応援給付金 126件	

注1) 県内の周産期医療機関や市町村を情報ネットワークで結び、妊娠届出・妊婦健診・分娩などの情報を登録し、相談や医療提供に活用するシステム

注2) エンジンバラ産後うつ病質問票。9点以上で継続フォローが必要とされている。

(3) 成人保健事業

① 健康教育・健康相談等

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
1	健康教育	生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活のあり方、その他健康に関する必要事項について、集団健康教育を実施した。	①～⑧の合計 開催回数 12回 参加者数 67人	①～⑧の合計 開催回数 26回 参加者数 471人	—
		① 健康づくり座談会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	5会場 延べ24人	
		② 地域公民館等での健康教室（健康づくり推進員共催）	1回 16人	3回 延べ28人	
		③ 食生活改善推進員養成教室	4回 受講者4人 修了者3人	5回 受講者15人 修了者15人	
		④ 食生活改善推進員スキルアップ研修	2回 18人 「地域で料理教室を開催しよう！」	4回 延べ60人 「食生活改善推進員活動について」 「つばきゆべしづくり」 「暮らしに役立つ防災」 「食生活改善推進員手帳のまとめ方」	
		⑤ お父さんといっしょ！クッキング	開催回数 1回 親子5組（11人）	開催回数 2回 1回目：親子8組（17人） 2回目：親子11組（24人）	
		⑥ その他（施設や団体からの依頼など）	3回 延べ14人	5回 延べ50人	
		⑦ 講演会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	1回 245人 （ロコモティブシンドロームについて）	
		⑧ 禁煙教室	令和3年度市町村国保ヘルスアップ事業「スパット！禁煙教室」 4名	令和4年度市町村国保ヘルスアップ事業「スパット！禁煙教室」 8名	

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
2	歯のかわら版発行	口腔衛生の正しい知識を啓蒙するため、大船渡歯科医師団の協力により歯のかわら版を発行した。	2回発行（全世帯へ配付）	2回発行（全世帯へ配付）	—
3	健康相談	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職により、健康に関する指導と助言を行った。 ア 高血圧 イ 脂質異常症 ウ 糖尿病 エ 歯周疾患 オ 骨粗鬆症 カ 病態別 キ 女性の健康 ク その他	ア 開催回数3回，参加者数4人 イ 開催回数4回，参加者数4人 ウ 開催回数2回，参加者数2人 エ 開催回数0回，参加者数0人 オ 開催回数0回，参加者数0人 カ 開催回数1回，参加者数1人 キ 開催回数0回，参加者数0人 ク 開催回数5回，参加者数8人 計 開催回数15回，参加者数19人	ア 開催回数1回，参加者数10人 イ 開催回数0回，参加者数0人 ウ 開催回数0回，参加者数0人 エ 開催回数0回，参加者数0人 オ 開催回数0回，参加者数0人 カ 開催回数0回，参加者数0人 キ 開催回数0回，参加者数0人 ク 開催回数7回，参加者数9人 計 開催回数8回，参加者数19人	—
4	訪問指導	療養上の保健指導が必要であると認められる者とその家族に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行った。	訪問者数 延べ27人	訪問者数 延べ75人	—

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
5	糖尿病重症化予防事業	血糖値・HbA1cが高い国保加入者の重症化リスクが高い国保加入者に対し、受診勧奨・保健指導を行い、糖尿病の発症・重症化予防を図った。	保健指導 実施者 4人 保健指導後の生活習慣改善率 75% 保健指導後の検査値改善率 50% 受診勧奨 対象者 34人 実施者 34人 うち、医療機関受診 11人 予防教室 回数 1回 参加者 27人 保健指導により、参加者の改善につながっている。受診勧奨については、一度だけの訪問や電話では受診につながらないケースが多かった。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問実績なし。	保健指導 実施者 4人（うち医療機関からの紹介3名） 保健指導後の生活習慣改善率 50% 保健指導後の検査値改善率 25% 指導により、数値に大きく改善は見られなかったが、参加者の生活改善の意識は変化している。 受診勧奨 対象者 28人 実施者 27人 うち、医療機関受診 5人 電話に出ない場合は訪問を実施したが、会うことができず、受診につながらないケースが多かった。 予防教室 回数 1回 参加者 22人	市国民健康保険 保健事業実施計画 (データヘルス計画) 《令和5年度目標値》 指導終了者の生活習慣改善率 50% 指導終了者の検査値改善率 30% 受診勧奨により医療機関受診した者の割合 100%
6	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 (R4新規)	高齢者の健診・医療・介護データ等をもとに地域の健康課題の分析・健康課題者の把握を行い、国民健康保険の保健事業と連携した疾病予防・重症化予防の取組を実施した。	—	糖尿病性腎症重症化予防（再掲） ①個別指導 実施者 27人（うち継続支援実施者9人） ②受診勧奨 実施者 4人 健康状態不明者対策 実施者 171人（対面率74.3%） 対応率※ 9.3% 状況把握率 94.3% 健康相談・健康教育（サロン訪問） 回数 34回 参加者 延べ342人 気軽に相談できる環境づくり（フレイル予防教室） 回数 55回 参加者 延べ594人	—

※対応率：対面した者のうち、受診勧奨や介護サービスの利用勧奨を実施した者の割合

② 健康診査・がん検診等

※取組内容中の年齢は年度内に到達する年齢を表記。

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
1	胃がん検診	バリウムによる胃部X線撮影 対象 40歳以上	受診者数 2,062人 受診率注) 10.8%	受診者数 2,097人 受診率注) 11.2%	(国)がん対策推進基本計画 《令和4年度目標値》 受診率 50.0%
2	肺がん検診	胸部X線 (DR) 撮影・喀痰細胞診 検査 対象 40歳以上	受診者数 4,188人 受診率 16.8% ※特定健診・大腸がん検診と同時実施	受診者数 4,182人 受診率 17.0% ※特定健診・大腸がん検診と同時実施	(国)がん対策推進基本計画 《令和4年度目標値》 受診率 50.0%
3	子宮頸がん検診	細胞診検査 (頸部)、内診 対象 20歳以上の偶数年齢の女性	受診者数 1,186人 受診率注) 14.2%	受診者数 1,226人 受診率注) 15.4%	(国)がん対策推進基本計画 《令和4年度目標値》 受診率 50.0%
4	乳がん検診	乳房X線撮影 対象 40歳以上の偶数年齢の女性	受診者数 1,422人 受診率注) 21.2%	受診者数 1,408人 受診率注) 20.9%	(国)がん対策推進基本計画 《令和4年度目標値》 受診率 50.0%
5	がん検診推進事業 (新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業)	各種がん検診の受診勧奨を強化し、検診受診を促進した。 平成29年度～ 子宮頸がん検診は21歳の女性に、乳がん検診は41歳の女性に、それぞれ無料クーポン券を送付 平成30年度～ 肺がん検診の40～69歳の対象者で前半日程の未受診の者へ受診勧奨ハガキを送付 令和元年度～ 胃がん検診について、40～69歳で過去5年間に受診した者と、40歳と61歳の者に受診勧奨ハガキを送付	クーポン券 子宮頸がん検診 対象者 121人 使用者 4人 (3.3%) 乳がん検診 対象者 157人 使用者 40人 (25.5%) 受診勧奨ハガキ送付 肺がん検診 受診勧奨者 2,309人 受診者 728人 (31.5%) 胃がん検診 対象者 2,025人 受診者 754人 (37.2%)	クーポン券 子宮頸がん検診 対象者 101人 使用者 5人 (5.0%) 乳がん検診 対象者 149人 使用者 40人 (26.8%) 受診勧奨ハガキ送付 肺がん検診 受診勧奨者 3,550人 受診者 734人 (20.6%) 胃がん検診 対象者 2,054人 受診者 711人 (34.6%)	—

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
6	大腸がん検診	便潜血反応検査(自宅で2日間便を採取) 対象 40歳以上	受診者数 4,287人 受診率 17.2%	受診者数 3,971人 受診率 16.1%	(国)がん対策推進基本計画 《令和4年度目標値》 受診率 50.0%
7	肝炎ウイルス検診	HBs抗原・抗体、HCV検査 対象 40歳以上の未検者	受診者数 253人	受診者数 252人	—
8	前立腺がん検診	前立腺特異抗原検査(PSA値測定) 対象 特定健康診査等を受診した50歳以上の男性	受診者数 732人	受診者数 771人	—
9	歯周病検診	口腔内診査(歯科医院・クリニック等に委託して個別診査) 対象 20・30・40・50・60歳の者	受診者数 363人 受診率 20.3%	受診者数 324人 受診率 18.0%	—
10	一日人間ドック	循環器系検診、各種がん検診等 対象 35歳～69歳で前年度の助成を受けていない者	受診者数 111人	受診者数 101人	—
11	基本健康診査	身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査(脂質、糖代謝、肝機能)、(必要時)心電図、眼底検査 対象 35歳～39歳の者、生活保護受給者	受診者数 86人	受診者数 81人	—
12	特定健康診査	基本健康診査と同じ検査項目と腹囲測定 対象 市国民健康保険に加入している40歳～74歳の者	受診者数 2,324人 受診率 38.1%	受診者数 2,288人 受診率 35.2%〔暫定値〕	市国民健康保険 特定健康診査等実施計画 《令和4年度目標値》 受診率 56%
13	後期高齢者基本健康診査	基本健康診査と同じ検査項目 対象 後期高齢者医療制度加入者	受診者数 1,236人 受診率 18.1%	受診者数 1,352人 受診率 18.5%	—

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
14	特定保健指導	対象 特定健康診査を受診した者のうち、メタボリック症候群（内臓脂肪型肥満）又は予備群該当者と判定された者等で服薬治療を受けていない者	積極的支援（暫定値） 対象者 91人 終了者 37人 実施率 40.7% 動機付け支援 対象者 241人 終了者 130人 実施率 53.9%	積極的支援 対象者 100人 終了者 21人 実施率 21.0% 動機付け支援 対象者 246人 終了者 117人 実施率 47.6%	市国民健康保険 特定健康診査等実施計画 《令和4年度目標値》 実施率 52%
15	後期高齢者歯科健康診査	口腔機能の状態を把握し口腔機能の維持・改善を促した。 対象 後期高齢者（前年度に75歳の誕生日を迎えた者）	受診者数 62人 受診率 18.2%	受診者数 67人 受診率 16.6%	—
16	がん患者医療用補正具購入費助成	医療用補正具を使用するがん患者に対し、購入費用の一部を助成し、治療と社会参加、療養生活を支援する。	—	助成対象者 6人	—

注) ※受診率＝(「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」)÷「2年連続受診者数」×100。

(4) 感染症予防対策事業

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
1	予防接種（定期接種）	4種混合（ジフテリア、百日咳、破傷風、不活化ポリオ） ジフテリア破傷風 不活化ポリオ	1期初回 延べ 426人 1期追加 172人 1歳6か月までに1期初回3回を終了している者の割合 95.5% 2期 214人 初回 延べ 0人 追加 0人	1期初回 延べ 404人 1期追加 144人 1歳6か月までに1期初回3回を終了している者の割合 97.2% 2期 218人 初回 延べ 0人 追加 0人	子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 1歳6か月までに1期初回3回を終了している者の割合 100%

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
		麻疹・風しん	1期 161人 (接種率95.8%) 2期 224人 (接種率95.3%)	1期 141人 (接種率97.2%) 2期 210人 (接種率93.8%)	(国)麻疹に関する特定感染症 予防指針 接種率95%
		日本脳炎	1期初回 延べ 336人 1期追加 97人 2期 160人	1期初回 延べ 404人 1期追加 311人 2期 261人	—
		BCG	147人	133人	—
		ヒブワクチン	延べ 568人	延べ 565人	—
		小児用肺炎球菌ワクチン	延べ 571人	延べ 571人	—
		子宮頸がん予防ワクチン ^{注1)}	延べ 36人	延べ 167人	—
		水痘	1～3歳未満 1回目 156人 2回目 155人	1～3歳未満 1回目 144人 2回目 145人	—
		B型肝炎	延べ 422人	延べ 420人	—
		ロタワクチン	延べ 275人	延べ 284人	—
		高齢者の肺炎球菌ワクチン	60～64歳 0人 65歳以上 628人	60～64歳 1人 65歳以上 687人	—
		季節性インフルエンザ	60～64歳 10人 65歳以上 7,808人	60～64歳 13人 65歳以上 7,355人	—
		風しん第5期 ^{注2)}	抗体検査者数 295人 予防接種者数 53人	抗体検査者数 165人 予防接種者数 21人	—
2	予防接種 (任意接種)	小児インフルエンザワクチン	延べ 3,332人	延べ 2,630人	—

注1) 令和4年4月1日から積極的な接種勧奨を再開。また、積極的勧奨を逃した女子(平成9年4月2日生～平成18年4月1日生)に対して、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う「キヤッチアップ接種」を実施する。(令和7年3月31日までの時限措置)

注2) 公的な接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い(約80%)状況にある昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に国の制度にて風疹抗体検査及び予防接種(麻疹風しん混合ワクチン)の無料クーポン券を送付して実施。(令和7年3月31日までの時限措置)

(5) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
1	ワクチン接種の実施	市内医療機関等の協力のもと、接種体制を構築し、接種を希望する市民へのワクチン接種を実施した。	医療従事者への接種継続 4月…高齢者施設入所者及び従事者への接種開始 5月…65歳以上の市民への接種開始 7月…64歳以下の市民への接種開始 対象範囲を拡大しながら、追加接種(3回目接種)までを順次実施した。	予防接種法及び国の方針に速やかに対応し、市内医療機関及び関係機関等の協力を得ながら、集団接種および個別接種を継続して実施した。	—
2	感染拡大防止のための啓蒙普及及び保健活動への配慮	感染拡大防止に係る情報の啓蒙普及を行った。 三密回避のため検診に予約制を導入するなどの対応を行った。	市ホームページ及び広報による啓蒙の実施	市ホームページ及び広報による啓蒙の実施	—

(6) その他

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
1	在宅当番医制運営事業	休日における市民の救急医療を確保するため、気仙医師会及び気仙歯科医師会の協力を得て、気仙2市1町の共同で実施。	診療日数 73日 医科受診者数 1,020人 歯科受診者数 292人	診療日数 73日 医科受診者数 1,056人 歯科受診者数 256人	—
2	健康づくり推進協議会	保健事業実施状況の報告と保健事業等の審議	開催回数 1回 委員 12人出席	開催回数 1回 委員 12人出席	—

No.	事業名	取組内容	令和3年度実績	令和4年度実績	計画等の目標値
3	健康づくり推進員の活動	各行政区に1名を委嘱し、健康づくりに関する知識を深めるとともに、地域での健康づくり活動を実施した。(任期2年)	131人(うち1年で交替した地域の26人を新たに委嘱) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため健康相談・健康教育は実施しなかつた。各地域で検診の受診勧奨を行った。	推進員数 132人 健康づくり推進員研修会 実施回数 2回 参加者数 45人	—
4	食生活改善推進員の活動	食生活を基本とした市民の健康づくりを推進するため、地域におけるボランティア活動をおけるボランティア活動を支援した。食生活改善推進員団体連絡協議会の事務局を担当。	会員数 100人 ボランティア活動 実施回数 300回 参加者数 延べ1604人	会員数 94人 ボランティア活動 実施回数 176回 参加者数 延べ1747人	—
5	運動普及推進員の活動	地域における運動習慣の普及を推進した。運動普及推進員団体「歩々笑(ほほえみ)」の事務局を担当。	会員数 30人 地域での自主活動 実施回数 35回 参加者数 延べ237人	会員数 26人 地域での自主活動 実施回数 27回 参加者数 延べ152人	—
6	ボランティアナーสบあつけの会の活動	災害時のボランティア活動や、有事の活動に備えた研修等を行う会の事務局を担当。	会員数 11人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修会は中止。 ※新規会員募集を行った。	会員数 17人 ※新規会員募集を行った。 研修会開催数 1回	—
7	市広報「いきいき!健康講座」による啓蒙普及活動	市広報に健康に関する内容を掲載した。	掲載回数 5回	掲載回数 6回	—
8	「健康情報誌 おおふなど」の発行	健康課題等健康づくりに関する情報を掲載した情報誌を発行した。多方面の関係機関に依頼して各所に配架するとともに、検診等の機会を捉えて広く市民へ配布した。	発行回数 4回 延べ 約12,133部配布	発行回数 1回 約2,500部配布	—

3 議事 (2) 令和5年度保健事業実施計画(案)について

令和5年度の主な保健事業実施計画(案)について

令和5年度は次の5項目を重点課題とし、課題解決に向けてさまざまな取り組みを行うとともに、市民の健康増進を図るため、各種事業を実施する。

<令和5年度の重点課題>

- 1 乳幼児のむし歯予防(継続)
- 2 子育て世代包括支援センター事業の推進(継続)
- 3 特定健康診査等の受診率の向上(継続)
- 4 糖尿病重症化予防(継続)
- 5 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施事業(継続)

(1) 母子保健事業

母と子がともに健やかに過ごせるように、乳幼児健康診査・相談や、妊産婦の健康管理の充実、経済的負担の軽減などの各種事業を継続して実施するとともに、安心して妊娠・出産ができる体制の確保を図り、母子の健康保持・増進を促進する。

令和5年度は、新たに妊婦歯科健康診査に係る費用の助成を行う。

① 乳幼児のむし歯予防の充実〔重点課題〕

3歳児歯科健診時のむし歯有病率は、平成28年の42.3%や平成30年度の25.1%と比較して、令和元年度以降は19.7%から徐々に低下し、令和2年度18.9%、令和3年度17.3%、令和4年度11.4%と、ここ数年でかなりの改善が図られてきている。

引き続き、1歳6か月児及び3歳児健康診査の際にフッ素の歯面塗布や、1歳児健康相談での歯科衛生士による個別のブラッシング指導、随時の個別指導などに継続して取り組み、早期からのむし歯予防の充実を図る。

また、市が設置している地域子育て支援センター「すくすくルーム」(サンリア・ショッピングセンター内)で、これまでの保健師・栄養士による子育て・栄養相談に加え、歯科衛生士による口腔ケアに関する相談を実施するほか、引き続き「大船渡子育て支援アプリ トントン」などを通じて、むし歯予防の啓蒙普及に努める。

(2) 子育て世代包括支援センター事業〔重点課題〕

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施するため、助産師や保健師等が妊産婦や乳幼児等の実情を把握しながら、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、支援プラン作成、保健医療または福祉等の関係機関との連絡調整等を行う。

引き続き妊娠期における相談機能の充実を図り、妊産婦のメンタルヘルスケア等に努めるとともに、「産前・産後サポート事業」や「産後ケア事業」の実施、「大船渡子育て

支援アプリ「トントン」などによる情報の提供など、きめ細やかな支援を行う。

また、妊娠期から出産・子育て期までの、様々なニーズに即した相談や必要な支援につなぐ相談支援と併せ、妊娠の届出を行った妊婦・出生の届出が行われた子の養育者等に対し給付金を支給する経済的支援を一体的に実施し、効果的な支援を行う。

(3) 成人保健事業

市民一人ひとりが、生活習慣病等の疾病を予防し、健やかに生活を送れるよう、健康診査、各種がん検診、健康相談、健康教育、訪問指導等を実施する。

① 特定健康診査等の受診率の向上〔重点課題〕

特定健診や肺がん検診を含む各種がん検診は、目標とする受診率には届いていないことから、健康情報誌をはじめ、健康講演会等のあらゆる機会を通して検診の重要性について周知を図るとともに、受診しやすい体制や環境を整えるため、乳がん検診と子宮頸がん検診を同日に実施するなど、引き続き受診率の向上に努め、生活習慣病等の予防につなげていく。

② 糖尿病重症化予防〔重点課題〕

国保データベースシステム（KDB）の情報等により、主に糖尿病ハイリスク者への受診勧奨、保健指導等による糖尿病重症化予防に取り組む。

気仙医師会をはじめとした関係機関との連携により、これまでの取組実績を評価しながら、効率的な事業となるように改善を図っていく。

(4) 感染症予防事業

市民を感染症から守るために、定期予防接種について、接種を推進し安心・安全な接種体制を整えるとともに、任意予防接種である小児インフルエンザ予防接種について、重症化予防と接種費用の軽減を図るため、引き続き助成事業を実施する。

① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対応

予防接種法及び国の方針等に速やかに対応し、市内医療機関及び関係機関等の協力のもと、医療機関での個別接種と、公共施設での集団接種などにより、市民への円滑なワクチン接種を実施する。

また、市のホームページや広報等を利用し、感染状況に応じた情報提供や啓発を行う。

② 子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種の実施

引き続き積極的な接種勧奨を行うとともに、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した女子（平成9年4月2日生～平成18年4月1日生）に対して、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う「キャッチアップ接種」を実施する。（令和7年3月31日までの時限措置）

③ 風しん抗体検査未実施者への対応

令和元年度から開始された国の「風しんの追加的対策」が令和6年度まで延長となったことから、これに係る対応として、対象者（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性）のうち、抗体検査未実施者にクーポン券を送付するなど、風しんの感染拡大の防止を図る。（令和7年3月31日までの時限措置。）

(5) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施〔重点課題〕

高齢者の健康寿命の延伸を図るため、庁内関係部局（健康推進課・国保医療課・地域包括ケア推進室）が連携して、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施する。

高齢者の健診・医療・介護データ等をもとに地域の健康課題の分析・健康課題者の把握を行い、糖尿病重症化予防に取り組む。

また、フレイル予防に関する普及啓発や健康状態の把握、さらに、健診・医療の受診勧奨や介護サービス等の利用勧奨を行うなど、介護予防の取組を進める。

(6) 第3次健康おおふなと21プランの策定

現行の健康おおふなと21プラン(第2次)は、平成27年度から9か年を計画期間としており、令和5年度で終了する。このため、第3次計画の策定に向けて現計画の最終評価と当市の特性や健康課題を踏まえ、市民の健康づくりを一層推進する第3次健康おおふなと21プランを策定する。

令和5年度 事業計画 (案)

(1) 母子保健事業

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
1	妊婦一般健康診査	妊婦に受診票を交付し、医療機関委託健康診査を実施（子宮頸がん検診受診票も交付）	—
2	妊婦歯科健康診査	妊婦に受診票を1枚交付し、市内歯科医院にて歯科健康診査を実施。令和5年度新規事業	
3	パパママ教室	妊婦とその夫（パートナー）・家族のための健康教室を夜に年4回実施する。「産後の家族の役割分担」のグループワークなど内容の充実を図る。	—
4	産婦健康診査費用助成	概ね産後2週間と1か月に受診する産婦健康診査について、1人につき2回、各5,000円を上限として健診費用を助成する。	—
5	1か月児健康診査	医療機関に委託し、実施。（個別健康診査）	—
6	4か月児健康診査	医療機関に委託し、実施。（個別健康診査）	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 99.7%
7	10か月児健康診査	医療機関に委託し、実施。（個別健康診査）	—
8	1歳6か月児健康診査	集団健康診査	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 100%
9	3歳児健康診査	集団健康診査	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 98.5%
10	乳幼児精密健康診査	精密健康診査受診票の交付	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 受診率 100%
11	離乳食教室（3か月児健康相談）	3か月児を対象に離乳食・予防接種の受け方等の指導、健康相談などを実施。	—
12	7か月児健康相談	身体計測や健康相談を実施。ブックスタート事業（担当：図書館）も合わせて実施。	—
13	1歳児健康相談（歯科個別指導）	身体計測や健康相談を実施。個別歯磨き指導及び歯科保健指導を実施。	—
14	新生児聴覚検査費用助成事業	新生児聴覚検査費の一部助成を実施する。（10,000円/人）	—
15	のびっこ教室	幼児健診で要経過観察となった児、健診未受診児、園訪問で要経過観察となった児、育児不安のある保護者などを対象に、育児指導や心理士による発達相談を実施。児の集団活動を観察し、発達段階の整理や、今後の支援方針を検討する場とする。	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 12回

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
16	のびのび訪問事業 (幼稚園・保育園等訪問)	心理療法士と保健師が幼稚園・保育園を訪問し、健診等で経過観察が必要な乳幼児の集団の中での様子を観察するとともに、保育士等から気になる乳幼児の相談を受ける。	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 14回
17	赤ちゃんふれあい体験学習	高校生を対象に抱っこ・おむつ交換等の乳児とふれあう体験学習を実施する。	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 20人
18	未熟児養育医療給付事務	養育のため入院を必要とする未熟児について、医療費の一部を給付する。	—
19	すくすく相談・もぐもぐ相談・ぴかぴか相談	市が設置している地域子育て支援センター「すくすくルーム」(サン・リアショッピングセンター内)で、保健師による子育て相談(すくすく相談)、栄養士による栄養相談(もぐもぐ相談)及び歯科衛生士による口腔ケア相談(ぴかぴか相談)を実施する。(出張相談)	—
20	小児科オンライン・産婦人科オンライン	電話やソーシャルネットワークシステム(SNS)を通じて、妊娠・出産・子どもに関する悩み等について、小児科医や産婦人科医等が相談に応じる(予約制)。未来かなえ機構との連携事業。	—
21	1歳6か月児歯科健康診査	集団健康診査	—
22	2歳6か月児歯科健康診査	市内歯科医療機関(大船渡歯科医師団)に委託し、実施。(個別健康診査)	—
23	3歳児歯科健康診査	集団健康診査	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 むし歯のない3歳児の割合 84.0%
24	フッ化物歯面塗布事業	1歳6か月児及び3歳児の歯科健康診査時に歯科衛生士によるフッ化物歯面塗布と口腔衛生指導を実施。	—
25	幼児歯科訪問指導	幼児歯科健診後、ハイリスク児の家庭に対し歯科衛生士が訪問または電話により指導を行う。	—

(2) 子育て世代包括支援センター事業

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
1	母子健康手帳の交付	妊娠届出を受けて、妊婦に母子健康手帳を交付する。(予約制) 岩手県産期医療情報ネットワークシステム「いはーはとーぶ」 ^{※1)} への参加を促進する。	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 妊娠満11週までの届出の割合 98.6%

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
2	妊婦相談・保健指導	母子健康手帳交付時及び妊婦転入時の相談 妊婦相談（面接・訪問・電話・メール等）	—
3	新生児訪問指導 （乳児家庭全戸訪問事業を兼ねる）	新生児訪問及び2か月までの乳児訪問。 ※市外へ里帰りしている母子に対しては、里帰り先の自治体に訪問依頼する。	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 実施率 99.6%
4	産後のメンタルヘルス対策	乳児家庭全戸訪問の際の EPDS（注2）等3つの自己記入式質問票の記入結果により、産婦の精神状態を把握し、必要な支援を行う。	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 EPDS9点以上の産婦の割合 7.0%
5	母子継続支援事業	母子健康手帳交付時等のリスクアセスメント票をもとに、ハイリスク妊婦を判断し、保健指導を行う。特に継続的な支援が必要と判断した妊婦・家庭に対しては、妊娠前から密に関わり必要な支援を行う。	—
6	産前・産後サポート事業	NPO法人に委託し、月1回集団型ゲイサーサービスを実施。助産師や保育士等による妊産婦の妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みへの相談支援等を行う。	—
7	産後ケア事業	NPO法人に委託し、月1回宿泊施設を利用した個別型ゲイサーサービスを実施。母の体養促進のためのケアや授乳の指導等の保健指導や育児相談等を行う。	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 実施
8	電子母子手帳サービス（子育て支援アプリ）事業	スマートフォンアプリ「大船渡子育てアプリ トントン」を活用し、適時に適切な情報の配信を行うとともに、成長記録の管理、予防接種のスケジュール管理等ができる環境を提供する。	—
9	出産・子育て応援給付金の支給	妊娠の届出を行った妊婦・出生の届出が行われた子の養育者等に対し給付金を支給する。	—

注1）県内の周産期医療機関や市町村を情報ネットワークで結び、妊娠届出・妊婦健診・分娩などの情報を登録し、相談や医療提供に活用するシステム

注2）エンジンバラ産後うつ病質問票。9点以上で継続フォローが必要とされている。

(3) 成人保健事業

① 健康教育・健康相談等

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
1	健康教育	生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活のあり方その他健康に関する必要事項について、健康教育を実施する。	—

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
2	歯のかわら版発行	口腔衛生の正しい知識を啓蒙するため、大船渡歯科医師団の協力により歯のかわら版を発行し、全世帯に配布する。	—
3	健康相談	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職により、健康に関する指導と助言を行う。	—
4	訪問指導	療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行う。	—
5	糖尿病重症化予防事業	血糖値・HbA1cが高値で糖尿病の重症化リスクが高い者に対し、受診勧奨・保健指導を行い、糖尿病の発症・重症化予防を図る。	市国民健康保険 保健事業実施計画 (データヘルス計画) 《令和5年度目標値》 指導終了者の生活習慣改善率 50% 指導終了者の検査値改善率 30% 受診勧奨により医療機関受 診した者の割合 100%
6	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	高齢者の健診・医療・介護データ等をもとに地域の健康課題の分析と健康課題者の把握を行い、疾病予防・重症化予防の取組を実施する。	—
7	第3次健康おおふなと21プランの策定	現計画（第2次）の最終評価と市の健康課題の分析を行い、第3次計画を策定する。	—

② 健康診査・がん検診等

※取組内容中の年齢は年度内に到達する年齢を表記。

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
1	胃がん検診	バリウムによる胃部X線撮影 対象…40歳以上	(国)がん対策推進基本計画 《令和5年度目標値》 受診率 60%
2	肺がん検診	胸部X線(DR)撮影・喀痰細胞診検査 対象…40歳以上	(国)がん対策推進基本計画 《令和5年度目標値》 受診率 60%

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
3	子宮頸がん検診	細胞診検査(頸部)、内診 対象…20歳以上の偶数年齢の女性	(国)がん対策推進基本計画 《令和5年度目標値》 受診率 60%
4	乳がん検診	乳房X線撮影、視診、触診 対象…40歳以上の偶数年齢の女性	(国)がん対策推進基本計画 《令和5年度目標値》 受診率 60%
5	がん検診推進事業 (新たなステージに入ったがん 検診の総合支援事業)	子宮頸がん検診は21歳の女性に、乳がん検診は41歳の女性に、それぞれ無料クーポン券を送付する。 肺がん検診の40歳～69歳の対象者に受診勧奨ハガキを送付する。 胃がん検診について、40～69歳で過去5年間に受診した者と、40歳と61歳の者に受診勧奨はがきを送付する。	—
6	大腸がん検診	便潜血反応検査(自宅で2日間便を採取) 対象…40歳以上の者	(国)がん対策推進基本計画 《令和5年度目標値》 受診率 60%
7	肝炎ウイルス検診	HIBs 抗原・抗体、HCV 検査 対象…40歳以上の未検者	—
8	前立腺がん検診	前立腺特異抗原検査(PSA値測定) 対象…特定健康診査等を受診した50歳以上の男性	—
9	歯周病検診	口腔内診査(歯科医院・クリニック等に委託して個別診査) 対象…20・30・40・50・60歳の者	—
10	一日人間ドック	循環器系検診、各種がん検診等 対象…35歳～69歳で前年度の助成を受けていない者	—
11	基本健康診査	身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査(脂質、糖代謝、肝機能) 対象…35～39歳の者、生活保護受給者	—
12	特定健康診査	基本健康診査と同じ検査項目と腹囲測定を実施。さらに、医師の判断により必要とされた者には、心電図検査、眼底検査、貧血検査を実施する。 対象…市国民健康保険に加入している40歳～74歳の者	市国民健康保険 特定健康診査等実施計画 《令和5年度目標値》 受診率 60%
13	後期高齢者基本健康診査	基本健康診査と同じ検査項目 対象…後期高齢者医療制度加入者	—

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
14	特定保健指導	対象…特定健康診査を受診した者のうち、メタボリック症候群（内臓脂肪型肥満）又は予備群該当者と判定された者等で服薬治療を受けていない者	市国民健康保険 特定健康診査等実施計画 《令和5年度目標値》 実施率 60%
15	後期高齢者歯科健康診査	口腔機能の状態を把握することにより口腔機能の維持・改善を促す。 対象…後期高齢者（前年度に75歳の誕生日を迎えた者）	—
16	がん患者医療用補正具購入費助成	医療用補正具を使用するがん患者に対し、購入費用の一部を助成し、治療と社会参加、療養生活を支援する。	—

(4) 感染症予防対策事業

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
1	予防接種（定期接種）	不活化ポリオ、4種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風、不活化ポリオ）、ジフテリア・破傷風 麻しん・風疹、日本脳炎、BCG、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、水痘、子宮頸がん予防 ワクチン ^{注1)} 、季節性インフルエンザ（高齢者）、高齢者の肺炎球菌ワクチン、B型肝炎、 ロタウイルスワクチン、風しん第5期 ^{注2)}	市子ども・子育て支援事業計画 《令和6年度目標値》 4種混合：1歳6か月まで の接種完了率 100% (国)麻しんに関する特定感染症 予防指針 接種率 95%
2	予防接種（任意接種）	小児インフルエンザワクチン	—
3	新型コロナウイルスワクチン接種の実施	医療機関等の協力のもと、医療機関での個別接種と公共施設での集団接種により、市民へのワクチン接種を実施する。	—
4	新型コロナウイルス感染症に関する情報の提供	市のホームページや広報等を利用し、感染状況に応じた情報提供や啓発を行う。	—

注1) 令和4年4月1日から積極的な接種勧奨を再開。また、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した女子（平成9年4月2日生～平成18年4月1日生）に対して、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う「キャッチアップ接種」を実施する。（令和7年3月31日までの時限措置）

注2) 公的な接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い（約80%）状況にある昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に国の制度にて風疹抗体検査及び予防接種（麻しん風しん混合ワクチン）の無料クーポン券を送付して実施。（令和7年3月31日までの時限措置）

(5) その他

No.	事業名	取組内容	計画等の目標値
1	健康づくり推進協議会	保健事業実施状況の報告と保健事業等の審議	—
2	健康づくり推進員の活動	行政区に各1名の健康づくり推進員を委嘱し、健康づくりに関する知識を深め、地域での健康づくり活動を実施する。	—
3	食生活改善推進員の活動	食生活を基本とした市民の健康づくりを推進するため、地域におけるボランティア活動を支援する。食生活改善推進員団体連絡協議会の事務局を担当。	—
4	運動普及推進員の活動	地域における運動習慣の普及を推進する。運動普及推進員団体「歩々笑(ほほえみ)」の事務局を担当。	—
5	ボランティアナースばっけの会の活動	災害時にボランティア活動を行う。また、有事の活動に備えて研修等を行う。事務局を担当。	—
6	市広報「いきいき！健康講座」による啓蒙普及活動	「いきいき！健康講座」として、健康に関する内容を市広報に掲載する。	—
7	「健康情報誌 おおふなと」の発行	当市における健康課題等健康づくりに関する情報を掲載した情報誌を発行する。多方面の関係機関に依頼して配架するほか、検診等のさまざまな機会に広く市民へ配布する。	—

3 議事 (3) 第3次健康おおふなと21プランの策定について

1 策定の趣旨と位置づけ

国及び県においては、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を基本的方向とした「健康日本21」及び「健康いわて21プラン」をそれぞれ策定し、社会全体で個人の主体的な健康づくりを支援する取組を推進しています。

当市においても、全ての人々が健康で互いに支えあう、健康と優しさに満ちた福祉社会づくりを進めることを目的として、平成15年3月に「健康おおふなと21プラン（第1次）」を、平成27年3月には令和5年度までの9か年計画として、「健康おおふなと21プラン（第2次）～元気トントンおおふなと健康チャレンジプラン～」を策定し、住民主体の健康づくりを働きかけてきました。

第2次計画が今年度で終了することから、国の「健康日本21」及び県の「健康いわて21プラン」との整合を図りつつ、現計画の最終評価と現下の社会情勢、健康課題、当市の特性等を踏まえて、市民の健康づくりを一層推進するため、第3次計画を策定するものです。

2 計画の位置づけ

(1) 法的位置づけ

健康増進法第8条第2項に基づく市町村「健康増進計画」として、また、食育基本法第18条第1項に基づく「市町村食育推進計画」として、市が策定する計画とします。

※ 健康増進法第8条第2項（抜粋）

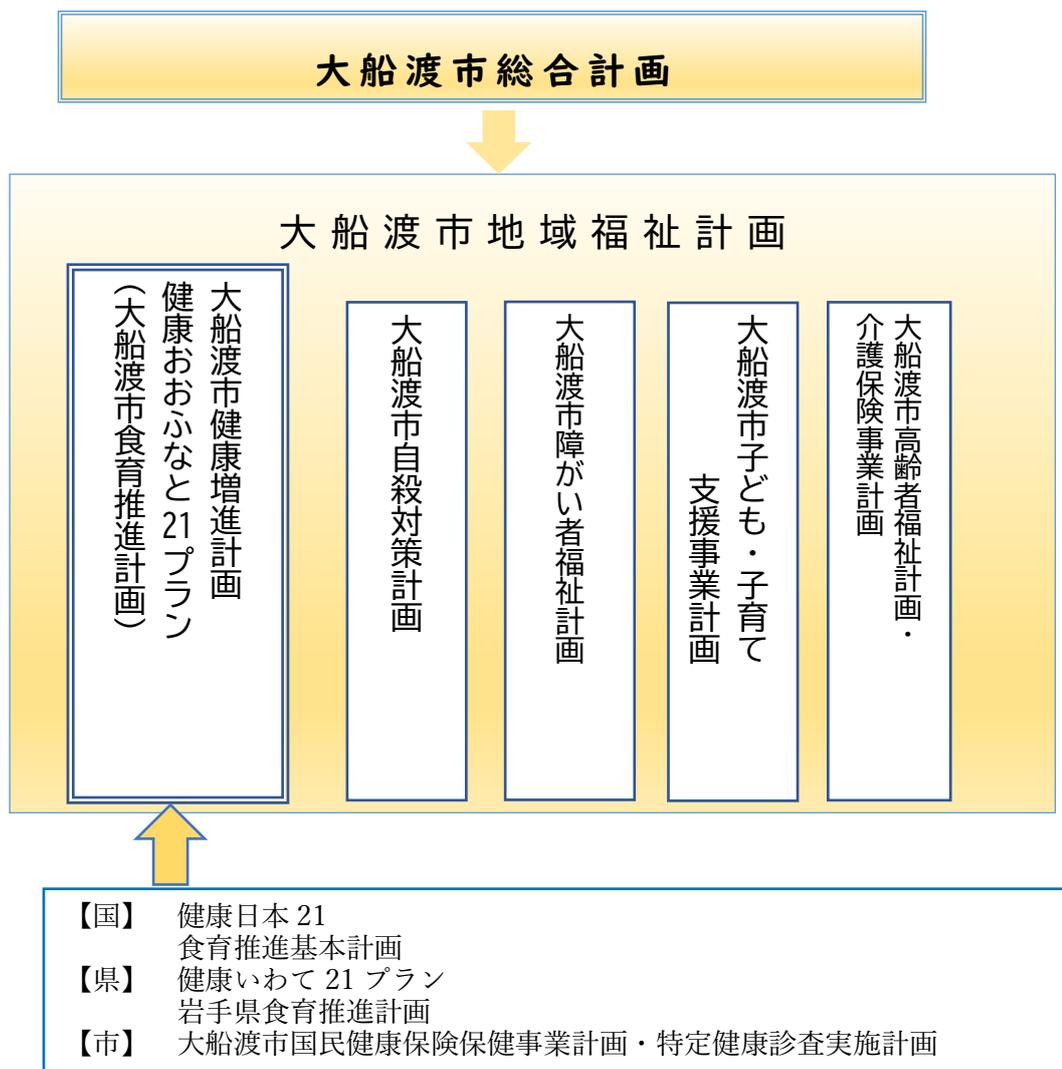
市町村は、基本方針および都道府県健康増進計画を勘案して、当該市町村の住民の健康の増進に関する施策について計画を定めるよう努めるものとする。

※ 食育基本法第18条第1項（抜粋）

市町村は、食育推進基本計画及び都道府県食育推進計画を基本として、当該市町村の区域内における食育の推進に関する施策について計画を作成するよう努めなければならない。

(2) 他の計画との関係

本計画は、本市の総合的なまちづくりの指針を定めた最上位計画である「大船渡市総合計画」や社会福祉法に基づく「大船渡市地域福祉計画」などの上位計画の他、健康、福祉、高齢介護、子ども・子育て等に関する各種計画との連携及び整合性を図りながら策定します。



3 計画期間

国が策定する「健康日本21（第3次）」に合わせて、令和6年度から令和17年度までの12年間とします。

4 策定体制

- (1) 「健康おおふなと21プランに関する市民アンケート」の実施
本計画の策定にあたり、市民の意見を反映させるためのアンケートを実施する。
- (2) 庁内組織の設置
第3次健康おおふなと21プラン庁内策定会議
- (3) 庁外関係機関等との協議
大船渡市健康づくり推進協議会の意見を反映させ、官民一体となって計画策定を推進する。
- (4) 健康づくりの地区組織との協議
大船渡市健康づくり推進員からの意見を聴取し、計画に反映させる。
- (5) パブリックコメントの実施
- (6) 外部の有識者による助言
岩手医科大学公衆衛生学講座教授 丹野幸三氏からの助言をいただく。

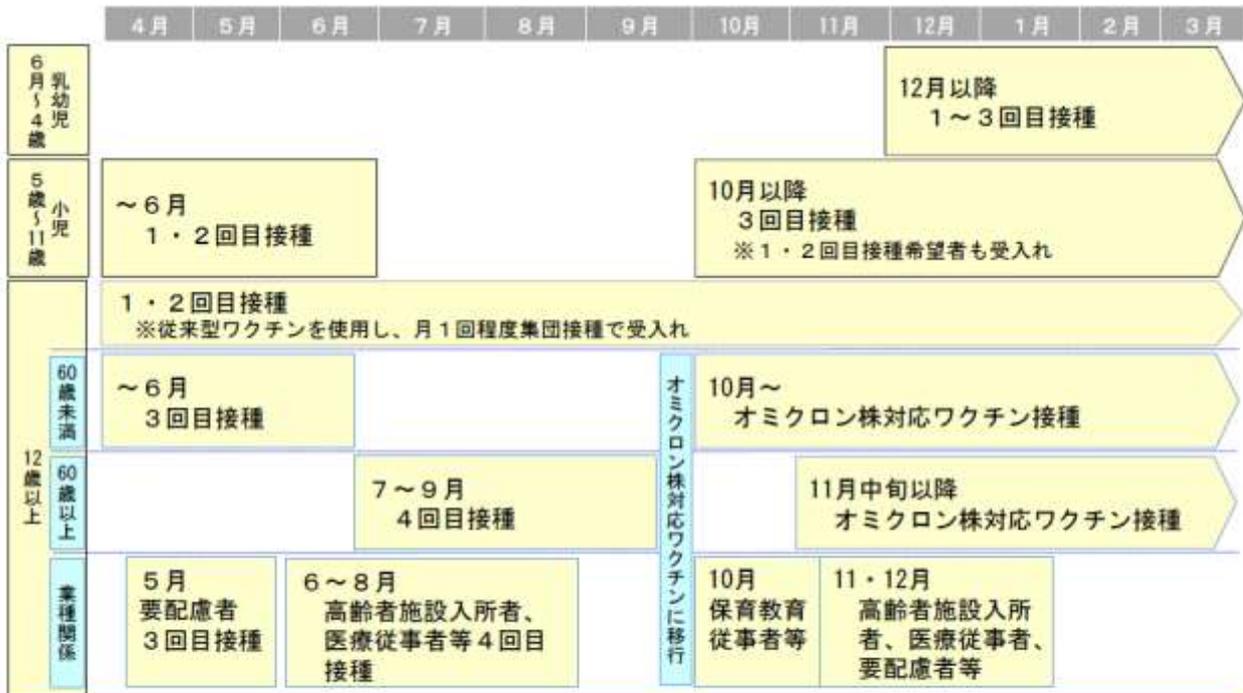
第3次健康おふなと21プラン策定スケジュール

	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11～12月			1月			2月			3月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
市民意見の反映				◆市民アンケート (6月上旬～下旬)							◆健康づくり推進員研修会 (8月～9月)										◆パブリックコメント											
市議会																						◆市議会全員協議会										
庁内策定会議				◆第1回庁内策定会議 ・策定趣旨・策定体制 ・スケジュール ・アンケート							◆第2回庁内策定会議 ・計画素案の検討										◆第3回庁内策定会議 ・計画素案(最終版)の検討											
健康づくり推進協議会				◆第1回協議会 ・策定趣旨・策定体制 ・スケジュール・アンケート																◆第2回協議会 ・計画素案の検討										◆第3回協議会 ・計画素案(最終版)の確認		
外部有識者(岩手医科大学丹野教授)										◆アンケート結果、現計画最終評価、現状と課題、目標案について																						
事務局(健康推進課)				◆庁内策定会議の設置 ・庁内策定会議の開催 ・スケジュール管理 ・アンケート調査票案の作成 ・アンケート発送準備 ・個人情報利用の関する手続き等				◆アンケート集計 分析・資料作成				◆庁内策定会議、健康づくり推進協議会、アンケート分析結果による意見、評価から計画素案の作成							◆市議会全員協議会、パブリックコメントでの意見・提言を踏まえて計画案を調整				◆第2回庁内会議及び協議会を踏まえて、計画素案の調整検討				◆市議会全員協議会、パブリックコメントでの意見・提言を踏まえて計画案を調整				◆第3次計画を市民・関係各所へ周知	◆事務手続き等を経て、第3次計画策定

大船渡市新型コロナウイルスワクチン接種状況と今後の体制について

1 令和4年度の接種状況

(1) 接種対象者と接種回数



令和4年度接種回数

市内医療機関での個別接種 27,846回

市民体育館等での集団接種 19,927回 (実施回数78回)

合計 47,773回

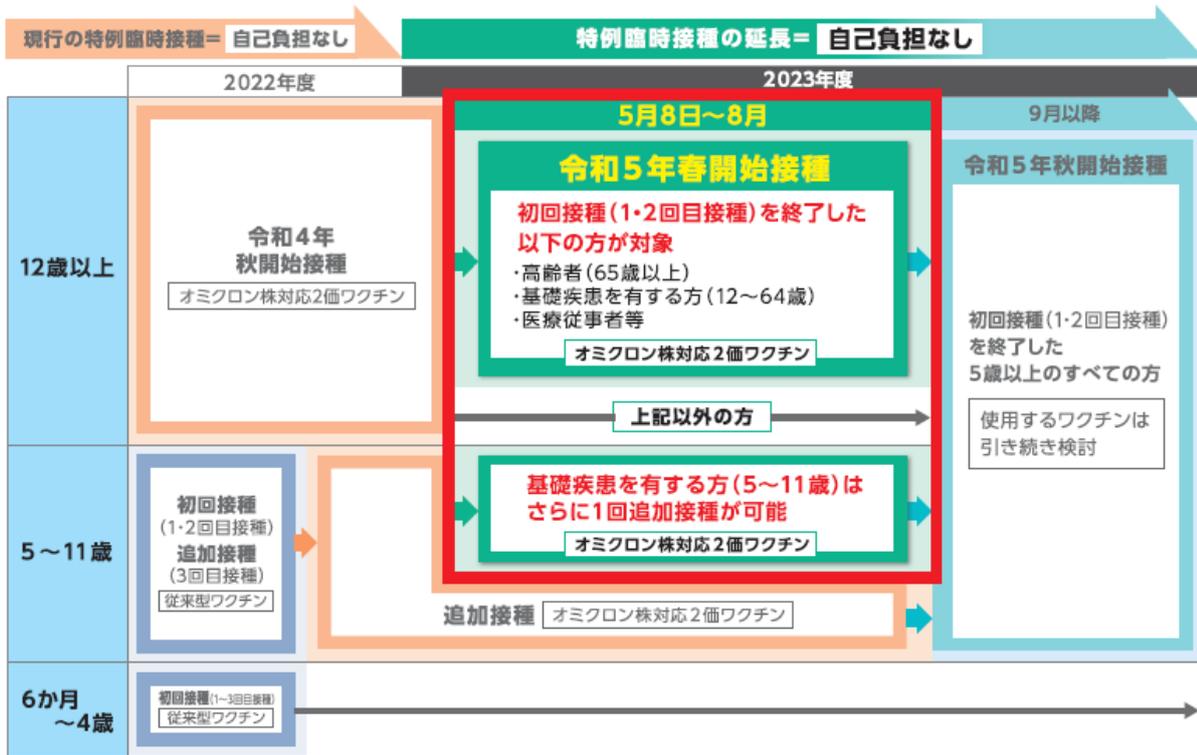
(2) 接種率

年代別接種率

		0 5 4 歳	5 5 1 1 歳	12 5 1 9 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 歳 以上	計	
人口 (R4.12.31現在)		807	1,560	1,975	2,306	2,809	3,881	4,657	5,029	5,486	3,848	1,182	33,540	
乳幼児・小児	1回目	接種済者数…②		94	825									
		接種率(%)…②/①		11.6	52.9									
	2回目	接種済者数…③		92	811									
		接種率(%)…③/①		11.4	52.0									
	3回目	接種済者数…④		80	451									
		接種率(%)…④/①		9.9	28.9									
オミクロン株対応ワクチン	人口…⑤				1,975	2,306	2,809	3,881	4,657	5,029	5,486	3,848	31,173	
	対象者数…⑥ (2回以上接種済者数)				1,853	2,250	2,611	3,593	4,382	4,830	5,335	3,747	1,102	29,703
	オミクロン株対応 ワクチン接種済者数…⑦				941	981	1,343	2,138	3,102	3,970	4,843	3,280	978	21,576
	人口比接種率(%) …⑦/⑤				47.6	42.5	47.8	55.1	66.6	78.9	88.3	85.2	82.7	69.2
	対象者比接種率(%) …⑦/⑥				50.8	43.6	51.4	59.5	70.8	82.2	90.8	87.5	88.7	72.6

2 令和5年度の接種体制について

(1) 令和5年度の接種スケジュール



(2) 令和5年春開始接種について

新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高い人などを対象に、ワクチン接種を行う。

ア 対象者

これまでに2回以上接種した65歳以上の人、基礎疾患を有する人、医療従事者・高齢者施設等の従事者

イ 接種間隔など

前回接種日から3ヵ月以上経過後に1回接種

ウ 使用ワクチン

ファイザー社製又はモデルナ社製のオミクロン株対応ワクチン

エ 接種方法

- ・医療機関での個別接種
- ・大船渡市民体育館での集団接種

オ 接種費用

無料

カ その他

5～11歳の小児接種、6ヵ月～4歳の乳幼児接種も小児科医療機関を中心に実施する。

3 令和6年度以降の体制について

現在は、予防接種法に基づく特例臨時接種の扱いとなっているが、国では令和6年度以降に継続する場合には、安定的な制度の下で実施することを検討しており、集団接種から個別接種への移行が適当であるとの見解を示している。

大船渡市健康づくり推進協議会委員名簿

任期：令和4年5月16日～令和6年3月31日

No.	氏名	所属団体等	備考
1	田 村 福 子 <small>タ ムラ フク コ</small>	大船渡市国民健康保険運営協議会	会長
2	畠 山 政 平 <small>ハタケ ヤマ マサ ヒラ</small>	大船渡市老人クラブ連合会	副会長
3	大 津 修 <small>オオ ツ オサム</small>	一般社団法人気仙医師会	
4	菊 池 正 弘 <small>キク チ マサ ヒロ</small>	大船渡歯科医師団	
5	千 葉 カズ マ <small>チ バ カズ マ</small>	気仙薬剤師会	
6	柴 田 シゲ ヒロ <small>シバ タ シゲ ヒロ</small>	大船渡保健所	任期 5.4.21～
7	矢 野 トミ子 <small>ヤ ノ トミコ</small>	大船渡市地域婦人団体連絡協議会	
8	白 崎 アキ ヒコ <small>シラ サキ アキ ヒコ</small>	一般財団法人大船渡市スポーツ協会	
9	山 崎 タカ ノリ <small>ヤマ サキ タカ ノリ</small>	社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会	
10	菊 池 トオル <small>キク チ トオル</small>	大船渡商工会議所	
11	金 野 リョウ コ <small>キン ノ リョウ コ</small>	大船渡市食生活改善推進員団体連絡協議会	
12	木 村 ミツ エ <small>キ ムラ ミツ エ</small>	大船渡市健康づくり推進員	
13	熊 谷 ユウ キ <small>クマ ガイ ユウ キ</small>	特定非営利活動法人さんりくWELLNESS	

大船渡市健康づくり推進協議会設置要綱

(設置)

第1 市民の健康づくりを推進するため、大船渡市健康づくり推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌)

第2 協議会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 健康づくりについての保健活動の推進に関すること。
- (2) 健康づくりについての知識の啓蒙普及に関すること。
- (3) 保健活動地区組織の育成に関すること。
- (4) 食育の推進に関すること。
- (5) その他前各号に準ずる健康づくりに関すること。

(組織)

第3 協議会は、委員15人以内で組織し、委員は市長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により、これを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、副会長が職務を代理する。

(会議)

第5 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第6 協議会に部会を置くことができる。

(庶務)

第7 協議会の庶務は、保健担当課において処理する。

(補則)

第8 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

【令和5年度 健康づくり事業】

健康推進課(子育て世代包括支援センター)

地域包括ケア推進室
(地域包括支援センター)

- 1 介護予防・生活支援サービス事業
 - ①介護予防ケアマネジメント
- 2 一般介護予防事業
 - ①介護予防把握事業
 - ②介護予防普及啓発事業
 - ③地域介護予防活動支援事業
 - ④地域リハビリテーション活動支援事業
- 3 包括的支援事業
 - ①総合相談支援業務
 - ②権利擁護業務
 - ③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - ④在宅医療・介護連携推進事業
 - ⑤生活支援体制整備事業
 - ⑥認知症総合支援事業

地域福祉課

- 1 自殺対策事業
 - ①心の健康づくり推進連絡会
 - ②こころのフォーラム
 - ③こころの出前講座
 - ④ゲートキーパー養成研修
 - ⑤若年層への普及啓発事業
 - ⑥心のケア傾聴訪問事業
 - ⑦普及啓発事業(自殺予防週間・自殺防止週間・自殺対策強化週間)
 - ⑧ひきこもり研修会
 - ⑨支援者向け研修会
 - ⑩精神障害者等への支援
 - ⑪保健師による相談・訪問
- 2 被災者心の健康づくり事業
グリーンケア・セミナー

母子保健

- 1 母子保健事業
 - ①妊婦一般健康診査
 - ②妊婦歯科健康診査
 - ③パパママ教室
 - ④産婦健康診査費用の助成
 - ⑤乳児一般健康診査(個別健診)
1・4・10か月児
 - ⑥幼児集団健康診査
1歳6か月児・3歳児
 - ⑦乳幼児精密健康診査
 - ⑧離乳食教室
 - ⑨7か月児健康相談
 - ⑩1歳児健康相談
 - ⑪新生児聴覚検査費用の助成
 - ⑫のびっこ教室
 - ⑬のびのび訪問
 - ⑭赤ちゃんふれあい体験学習
 - ⑮未熟児養育医療給付事業
 - ⑯すくすく相談・もぐもぐ相談・ぴかぴか相談
 - ⑰小児科・産婦人科オンライン
 - ⑱乳幼児歯科訪問指導
 - ⑲妊婦・乳幼児口腔衛生指導
- 2 子育て世代包括支援センター事業
 - ①母子健康手帳の交付
 - ②妊婦相談・保健指導
 - ③乳児家庭全戸訪問事業(新生児訪問を兼ねる)
 - ④産後のメンタルヘルス対策
 - ⑤母子継続支援事業
 - ⑥産前・産後サポート事業
 - ⑦産後ケア事業
 - ⑧子育てアプリ
 - ⑨出産・子育て応援給付金支給

感染症予防対策

- 1 予防接種(定期接種)

BCG・不活化ポリオ・麻しん・風しん・日本脳炎・インフルエンザ(65歳以上)・子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌・4種混合・水痘・高齢者の肺炎球菌・B型肝炎、風しん追加的対策、ロタウイルスワクチン
- 2 予防接種(任意接種費用助成)

小児インフルエンザ予防接種(中学3年生以下)
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種の実施
- 4 新型コロナウイルスワクチン感染症に関する情報の提供

成人保健

- 1 健康教育・健康相談等
 - ①健康教育
 - ②健康相談
 - ③訪問指導
 - ④糖尿病重症化予防事業
 - ⑤高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
 - ⑥がん患者医療用補正具購入費助成事業
- 2 健康診査・がん検診等
 - ①胃がん検診
 - ②肺がん検診
 - ③子宮頸がん検診
 - ④乳がん検診
 - ⑤がん検診推進事業(新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業)
※①～④の検診について実施
 - ⑥大腸がん検診
 - ⑦肝炎ウイルス検診
 - ⑧前立腺がん検診
 - ⑨歯周病検診
 - ⑩一日人間ドック
 - ⑪基本健康診査
 - ⑫特定健康診査
 - ⑬後期高齢者健康診査
 - ⑭特定保健指導
- 3 第3次健康おおふなと21プラン策定

歯科保健

- 1 歯のかわら版発行
- 2 歯周病検診
- 3 1歳6か月児歯科健康診査
- 4 2歳6か月児歯科健康診査
- 5 3歳児歯科健康診査
- 6 フッ化物歯面塗布事業
- 7 乳幼児歯科訪問指導
- 8 後期高齢者歯科健康診査
- 9 妊婦・乳幼児口腔衛生指導

その他

- 1 健康づくり推進協議会
- 2 健康づくり推進員の活動
- 3 食生活改善推進員の活動
- 4 運動普及推進員の活動
- 5 ボランティアナースばっけの会の活動
- 6 市広報「いきいき!健康講座」による啓蒙普及活動(再掲)
- 7 「健康情報誌 おおふなと」の発行(再掲)

大船渡市保健福祉部機構図（抜粋）

令和5年4月1日現在

